

# 医療、福祉充実で連携

## 高梁市、川崎学園と協定

高梁市は20日、川崎医科大や同付属病院などを運営する学校法人川崎学園（倉敷市）と医療、福祉の充実などに関する連携協定を結んだ。

協定は、地域の医療、保健、介護、福祉の充実や人材育成▽災害時の支援体制の構築▽大学などの専門知識を生かした地域振興―といった6項目。具体的な取り組みは今後、両者

で協議し、地域に根ざした医療人材の育成や重症患者の受け入れ強化などにつなげる。

高梁市役所で協定調印式があり、近藤隆則市長と同学園の川崎誠治理事長が協定書に署名した。近藤市長は「市の医療従事者の確保は大きな課題。さまざま分野で協力したい」とあいさつ。川崎理事長は「学園の知の資産

で高梁市のお役に立てると確信している。高梁医師会とも連携を深め、市民の期待に応えたい」と述べた。

同市は医療従事者の高齢化や人材不足が進む中、2018年に策定した市独自の医療計画に基づき、市外医療機関との連携に努めている。協定締結は岡山大病院（岡山市）、倉敷中央病院（倉敷市）に次いで3例目。

（小林貴之）



協定書を手にする近藤市長（左）と川崎理事長